

学園 ニュース

70th
Since 1948
Kikutake Gakuen

学園創立70周年祝い記念式典

歴史の重みに想いを馳せ
100周年目指し発展を誓う



お陰様をもちまして、70周年創立記念日の平成30年11月16日、盛大に記念式典・パーティ、海外姉妹校交流パーティを、厳かななかにも盛大に執り行うことができました。

理事らご来賓をはじめ歴代の学園関係者、PTA・同窓会・後援会、関連企業の皆様、なによりも日々菊武精神で尽力いただいています教職員の方々に、深く感謝を申し上げます。

さらに交流50周年を迎えた台湾の育達学園、国立台湾体育運動大学、韓国の鳳徳学園、中国・育達昇達大学など9つの姉妹校40名の方のご列席、ご祝辞をいただいたのも大きな喜びです。

各学校・園では今年度、東日本大震災へのボランティア派遣などの70周年記念行事を開催しています。特に学園発祥の地の菊武ビジネス専門学校は、同じく70周年を迎えました。11月10日には名古屋市東区の由緒ある建中寺で、学園全体で15名の慰霊法要をさせていただきました。

菊武学園は創設者の高木武彦が、終戦間もない



創設理念を胸に
さらに実践教育を強化

学校法人菊武学園 理事長 高木 弘恵

1948年（昭和23年）に、名古屋市東区の文房具店の一角にタイピスト養成所を開設したのが始まりです。18歳の時に母を亡くし、「女子教育に専念せよ」という母の言葉を励みに65年間、教育に尽力してまいりました。女性を取り巻く環境に大きな壁のあった時代にもかかわらず、女性の社会進出を先取りした創設者の先見の明に感服いたします。反発や抵抗にくじけず信念を持って貫き通され、今があると強く感じています。現在では、幼稚園から大学・大学院までの総合学園として発展し、卒業生約6万8千人を輩出しています。

この10年を振り返りますと、教育分野は少子化の影響を大きく受けています。

しかし「愛情教育」と「職業教育」の理念はゆるぎなく、地域社会から必要とされる教育機関を目指し強化してまいりました。

その一環として、稲葉保育園の新設、名古屋ドーム3つの広さを誇る運動施設「スポーツヒルズ」の開設、実践教育を強化した大学短大のカリキュラム改組、名古屋市北区にある専門学校の校名変更や改組、高校ではスポーツアクトコースの新設、通信制課程の単位制の導入など、時代のニーズに対応した教育環境の整備や変革を実施してまいりました。

今後100周年に向け、創設者の夢である小中学校の設立、実践教育をさらに取り入れた大学短大のさらなる教育改革を必ず成し遂げ、また、近年、教育改革の一つであるキャリア教育を全校で進めてまいります。課外活動、ボランティア、部活動や海外交流にも力を入れ、心の豊かな人材を育てていきたいと強く思っております。

これまでの70年の経歴を礎に、100周年に向け、進んでまいります。どうか皆様今後とも、変わらないご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

記念式典・パーティに 300 名参加、園児らの誓いの言葉が会場に響く



▲式典会場で全員そろって

学校法人菊武学園（高木弘恵理事長）の創立70周年を祝う記念式典は、11月16日、名古屋・名駅近くの新しい「ストリングスホテル名古屋」で、盛大に執り行われました。

理事ら学園関係者をはじめ海外姉妹校の幹部ら約300名が参加しました。高木弘恵理事長は「学園が70年を迎えられたのは皆さまのおかげ。100周年にめざして頑張ります」と、感謝の言葉を述べました。

海外姉妹校の台湾・育達科技大学の王育文理理事長が、来賓を代表して「菊武学園の長い歴史に敬意を表します」と祝辞を述べ、丹羽秀樹・前文科副大臣、大村秀章愛知県知事、河村たかし名古屋市長、鈴木英敏三重県知事からのビデオメッセージが会場に映し出されました。



▲学園の思い出話に花が咲く

菊華高校の米木綾教諭らの琴と尺八の演奏が、会場に力強く響き、最後に大学から幼稚園までの学生、生徒、園児ら7名が、未来への躍進を誓いました。

この後、会場をホールに移してパーティを開催。理事で岡谷鋼機社長の岡谷篤一様のご発声で乾杯、華やかな雰囲気の中、出席者は手品師らのパフォーマンスを楽しみ、学園の思い出に花を咲かせました。



▲岡谷理事の乾杯発声で華やかにパーティ幕開け

物故者慰霊祭



学校法人菊武学園で長年にわたって教育や運営に携われ、この10年間に、ご逝去された方を偲ぶ物故者の慰霊法要が、学園創立70周年を機に、11月10日、学園発祥の地に近い名古屋市中区の建中寺でしめやかなに執り行われました。

慰霊法要では、ご遺族をはじめ高木弘恵理事長、各所属長ら17名が参列し、読経が流れる中、次々と焼香して、平成21年から現在までに亡くなられた15名の方の霊を慰めました。

高木弘恵理事長は「今日の学園の発展と困難を乗り越えてこられたのは、物故者の方々のご尽力、功績があったおかげです」と式辞を述べ、故人の遺徳をたたえていました。



海外交流50年祝い、台湾・韓国・中国から9校集う

海外姉妹校と長い交流を祝い、さらなる発展誓う

海外姉妹校の台湾・育達学園との交流50周年、韓国・鳳徳学園との交流34年、国立台湾体育運動大学との交流4年を祝った記念パーティが、菊武学園70周年の11月16日夕、名古屋市のマリットホテルで開かれました。

育達科技大学の王育文理理事長、鳳徳学園の李玉植理事長、国立台湾体育運動大学の張振崗副学長らが、菊武学園とはこれからも、より交流を深めていきたい」と挨拶、高木弘恵理事長らと固い握手を交わし、互いに記念品を交換しました。



▲海外姉妹校との交流を祝う

菊武学園 物故者 (ご逝去日)			
学園本部	高木 武彦	名誉学園長	平成27年2月15日
浅野 信雄	会計課長		平成27年7月
名古屋産業大学	高瀬 良生	教授	平成23年12月27日
名古屋女子商科短期大学	秋山健重郎	名誉教授	平成28年11月22日
名古屋経営短期大学	高木 良夫	教授	平成27年2月18日
守山女子商業高等学校	寺田 柳一	校長	平成24年4月
菊華高等学校	塚田 厚子	教諭	平成26年1月29日
赤石 年雄	教諭		平成25年12月13日
山田 透	教諭		平成27年2月18日
前林 義邦	事務局長		平成26年2月5日
平野美紀子	事務主任		平成29年8月8日
菊武女子経済専門学校	尾崎 允	教員	平成27年11月24日
岡崎 妙子	教員		平成25年4月21日
日井 章子	教員		平成26年2月1日
菊武ビジネス専門学校	山田 久子	教員	平成22年8月19日



▲愛知代表として参加、銀賞の原さん(右)と藤村さん(中央)、梶野さん(左)の3選手

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院

技能五輪全国大会のフラワー装飾競技で

NWF Bの原さんが、初の銀賞に輝く

フラワービジネス科の原柚子さん(2年)は11月2日〜5日、沖縄・那覇市で開催された技能五輪全国大会の「フラワー装飾競技」で、NWF Bとして初の銀賞に輝きました。また、愛知県代表として参加した梶野真尋さん、藤村晴日さんの2人も健闘しました。

▶銀賞を受賞した原さんの花束などの作品



菊武ビジネス専門学校

▼英語を交えて日本文化を学ぶ茶道部



茶道部・バレエボール部発足

新しい部活に生徒ら張り切る

英語を交えて学ぶ、ユニークな茶道部(同好会)が、2018年度から発足しました。週1回、中学で英語を教えていた外部の講師を招き、8名の部員たちが頑張っています。将来は英語を使って海外の方に、もてなしができることを目指しています。8月には国府宮神社の「ふれあい茶会」に参加し、日ごろの練習成果を発揮しました。

また、9月からバレエボール部(同好会)が立ち上がりました。校舎屋上での活動ができたため、なかなか練習ができませんが限られた中で工夫をして、楽しく充実した練習を重ねています。

菊華高等学校

本格的な国際交流がスタート

台湾・建台高級中学が菊華高訪れる

友好提携を結んでいる台湾中部にある「建台高級中学(高校)」の教員・生徒一同が、5月21日、菊華高校を訪れました。和服姿の茶道部生徒らが出迎える中、山岸校長と建台高校の温学務主任が、生徒同士の交流が将来、国際社会の建設に少しでも貢献できる大切さを生徒に語りかけました。



▶笑顔で交流を深めた菊華高校と建台高級中学(高校)の生徒ら



▶市内観光をしながら両校生徒が異文化交流を体験する

学校法人菊武学園財務諸表 平成29年度 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

資金収支計算書

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	1,740,013
手数料収入	26,092
寄付金収入	4,060
補助金収入	638,737
資産売却収入	210,002
付随事業・収益事業収入	9,404
受取利息・配当金収入	8,283
雑収入	28,311
前受金収入	437,310
その他の収入	308,879
資金収入調整勘定	△ 506,245
前年度繰越支払資金	1,266,878
収入の部合計	4,171,724
人件費支出	1,613,517
教育管理経費支出	656,007
借入金等利息支出	1,320
借入金等返済支出	56,456
施設関係支出	46,180
設備関係支出	32,744
資産運用支出	400,726
その他の支出	155,804
資金支出調整勘定	△ 36,209
翌年度繰越支払資金	1,245,179
支出の部合計	4,171,724

活動区分資金収支計算書

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	1,740,013
手数料収入	26,092
一般寄付金収入	4,060
経常費等補助金収入	637,012
付随事業収入	9,404
雑収入	27,836
教育活動資金収入計	2,444,417
人件費支出	1,613,517
教育管理経費支出	655,513
教育活動資金支出計	2,269,030
調整勘定等	△ 18,251
教育活動資金収支差額	157,136
施設整備等活動資金収入計	1,728
施設整備等活動資金支出計	78,924
調整勘定等	△ 15,021
施設整備等活動資金収支差額	△ 92,217
その他の活動資金収入計	375,769
その他の活動資金支出計	462,386
調整勘定等	0
その他の活動資金収支差額	△ 86,617
支払資金の増減額	△ 21,698
前年度繰越支払資金	1,266,878
翌年度繰越支払資金	1,245,179

事業活動収支計算書

科 目	金 額
学生生徒等納付金	1,740,013
手数料	26,136
寄付金	5,294
経常費等補助金	637,012
付随事業収入	9,404
雑収入	28,039
教育活動収入計	2,445,898
人件費	1,611,462
教育管理経費	952,387
徴収不能額等	648
教育活動支出計	2,564,497
教育活動収支差額	△ 118,599
教育活動外収入計	8,283
教育活動外支出計	1,320
経常収支差額	△ 111,636
特別収入計	3,105
特別支出計	11,395
特別収支差額	△ 8,290
基本金組入前当年度収支差額	△ 119,927
基本金組入額合計	△ 116,258
当年度収支差額	△ 236,185
前年度繰越収支差額	△ 4,687,764
翌年度繰越収支差額	△ 4,923,949

貸借対照表

科 目	金 額
固定資産	12,838,692
有形固定資産	10,746,128
特定資産	2,070,062
その他の固定資産	22,502
流動資産	1,334,098
現金預金	1,245,179
未収入金 ※1	67,774
その他	21,145
資産の部合計	14,172,790
固定負債	442,276
長期借入金 *	64,439
退職給付引当金	351,189
長期未払金	26,648
流動負債	656,940
短期借入金 *	43,212
未払金 ※2	31,482
その他	582,246
負債の部合計	1,099,216
純資産の部	
基本金	17,997,523
第1号基本金	17,620,523
第2号基本金	190,000
第4号基本金	187,000
繰越収支差額	△ 4,923,949
翌年度繰越収支差額	△ 4,923,949
純資産の部合計	13,073,574
負債及び純資産の部合計	14,172,790

単位 千円

※1 の未収入金には愛知県の授業料軽減の為の償還補助金17,652千円が含まれ、その補助金により * 長期借入金 4,439千円、短期借入金 13,213千円が直接返済されることになっています。

※2 の未払金には期末退職者退職金が12,864千円含まれています。

※ 減価償却額の累計額の合計額 7,231,647千円

「虹」をテーマに大学祭を開催 親子連れらの熱気にあふれたお笑いライブ

「虹」をテーマに、10月13、14日に大学祭が開催されました。さまざまな模擬店が学内に並び、多くの地域住民らが参加し、キャンパスは活気に包まれました。

体育館でのお笑いライブでは、大ブレイク中の「ひょっこりはん」をはじめ、「パンサー」「ほんにゃ」らを招き、親子連れらで大変な熱気に包まれました。学生が運営する模擬店、イベントコーナーは、定番の



▲にぎわう学生たちのさまざまな模擬店

焼きそばや綿菓子に加え、お化け屋敷や七宝焼きなど、バラエティに富んだ内容になりました。

共同開催の尾張旭市民祭との合同企画のスタンプラリーや、小学生プラスバンド、棒の手披露などの地域行事も大学祭に、華を添えてくれました。

大学祭を成功させようと、実行委員会の学生たちは、連日夜遅くまで準備を進め、熱意と団結力を発揮しました。



▲地元・尾張旭の伝統芸能「棒の手」も披露された

最新AV機器に モダンな机、イス 学生ホールと 学生食堂を リニューアル

教育の向上を支援する平成29年度私立大学等改革総合支援事業に、名古屋産業大学の取り組みが採択され、学生ホールと学生食堂が新しくなりました。

採択された取り組みは、図書館と連動した学生ホールの「ラーニングコモンズ」構想と、学生食堂を学生や地域交流の場となる「スチューデントコモンズ」構想。最新の様々なAV機器を設け、机・イスを一新しました。アクティブラーニングなどに活用し、学生たちのキャンパスライフを豊かなものとしています。



▲最新のAV機器を使って授業をする

稲葉保育園

稲葉保育園に10月19日、菊華高校保育・福祉コース2年生の20名が、実習に訪れ園児と楽しい学びの時間を過ごしました。

かけっこ、踊り、玉入れで運動会ごっこをして、応援や対戦に大盛り上がりでした。体を動かした後は「十二支のおはなし」など絵本の読み聞かせに目を輝かせていました。

菊華高校 保育・福祉コース 20名の実習



▲絵本の読み聞かせに目を輝かせる園児たち

菊武幼稚園

掛け声も勇ましく堂々と今年も元気に「防火の誓い」

菊武幼稚園は、今年も10月25日、春日井市のナフコ勝川店の駐車場で、園児全員で「よいこの防火の誓い」、年長児がフリティーパレードを披露しました。

20年以上前から春日井市の幼年消防クラブに参加。秋の火災予防の時期に防火意識の高揚と地域への啓発の活動をしています。長年の活動が日本防火・防災協会より高く評価され、さる3月7日に自治体消防制度70周年記念式典で全国表彰を受けました。



▶幼年消防クラブ

学園ニュース No.36
2018年12月発行

編集発行 学校法人菊武学園本部
〒488-8711 尾張旭市新居町山の田3255-5
TEL 0561-55-3020
<http://gakuen.kikutake.com>

名古屋産業大学大学院
名古屋産業大学
<http://www.nagoya-su.ac.jp>

名古屋経営短期大学
<http://www.jc.nagoya-su.ac.jp>
尾張旭市新居町山の田3255-5

菊華高等学校
<http://kikuka.ed.jp>
名古屋市守山区小幡5-8-13

菊武ビジネス専門学校
<http://www.kikutake.ac.jp>
名古屋市東区相生町60

名古屋ウェディング&フラワービューティ学院
<http://nwfb.ac.jp/>
名古屋市北区平安2-15-43

菊武幼稚園
<http://kikutake.com>
春日井市柏原町1-60

稲葉保育園
尾張旭市稲葉町1-43